



2023年度 第3四半期
FY2023 9M

決算概要



Enhancing planetary health

2024年2月9日
日揮ホールディングス株式会社

CONTENTS

目次

- 2023年度 第3四半期 実績
- 2023年度予想
- 参考資料



最初に2023年度第3四半期実績、次に通期業績予想の修正について説明させていただきます。

2023年度 第3四半期 実績

Enhancing planetary health

最初に2023年度第3四半期の実績です。

ハイライト

- ・ 大型プロジェクトの進捗により前年同期比増収
- ・ 総合エンジニアリング事業において、国内外の一部プロジェクトで工事遅延リスク対応費用を見込む
- ・ 通期業績予想を修正

2023年度第3四半期のハイライトです。
大型プロジェクトの進捗により、売上高は前年同期比増収となりました。
総合エンジニアリング事業において国内外の一部プロジェクトで
工事遅延リスク対応の追加費用を見込んだことで、利益を押し下げるかたちと
なりました。
今第3四半期迄の状況を踏まえ、通期業績予想を修正しました。

連結損益計算書

【億円】

	9M FY2022	9M FY2023	前年同期比	
売上高	4,166	6,010	+1,844	+44%
売上総利益	450	323	△ 127	△ 28%
利益率	10.8%	5.4%	△ 5.4pt	
営業利益	253	92	△ 160	△ 63%
経常利益	334	233	△ 101	△ 30%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	225	106	△ 119	△ 53%
1株当たり四半期純利益	89.27円	44.08円		

2023年度第3四半期連結累計期間の業績について説明します。
 売上高は前年同期比44%、1,844億円増収の6,010億円となった一方、
 売上総利益は127億円の減益の323億円となりました。
 総合エンジニアリング事業の国内外の一部案件で苦戦しており、
 利益率は低下しました。
 営業利益は前年同期比160億円減益の92億円、販管費が増加した影響を
 受けました。
 経常利益は前年同期比101億円減益の233億円、
 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比119億円減益の106億円です。

セグメント情報

		【億円】			
		9M FY2022	9M FY2023	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	3,778	5,614	+1,835	+49%
	セグメント利益	228	86	△ 141	△ 62%
	利益率	6.0%	1.5%	△ 4.5pt	
機能材製造	売上高	360	367	+7	+2%
	セグメント利益	59	54	△ 4	△ 7%
	利益率	16.4%	14.9%	△ 1.5pt	
その他	売上高	27	28	+1	+4%
	セグメント利益	6	7	+1	+28%
	利益率	22.0%	27.1%	+5.1pt	
調整額	セグメント利益	△ 40	△ 56	△ 16	-

セグメントごとの状況です。

総合エンジニアリング事業では、売上高は前年同期比1,835億円増収の5,614億円となりました。

海外では石油・ガス関係、化学関係、国内ではクリーンエネルギー関係、ヘルスケア・ライフサイエンス関係のプロジェクトが進捗したことによるものです。

セグメント利益は前年同期比141億円減益の86億円にとどまりました。

第2四半期に海外子会社の中規模案件2件の遂行に伴い認識された追加コスト、リスクを反映したことで利益率が低下しました。

今第3四半期においては、採算見直しの結果、タイで遂行中の化学案件及び国内のクリーンエネルギー案件において、スケジュール遅延に対応したコスト・リスクを織り込む必要が生じたことで損失を計上いたしました。また、研究開発費や海外拠点の整備などにより販管費が増加しています。これらにより減益となり利益率が低下しております。

機能材製造事業では、石油精製触媒及びケミカル・環境保全触媒が好調だったものの、ディスプレイ、スマホの需要低迷などにより機能性塗料をはじめとしたファインケミカル製品が大幅な販売減となりました。

その結果、前年同期比で、売上高は横ばいの367億円、セグメント利益は4億円減益の54億円となりました。

その他は前年同期比横ばいとなっています。

調整額は、全社費用の人件費、研究開発関係の費用の増加により前年同期比で16億円の費用増となっています。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	9M FY2022	9M FY2023
海外	5,667	1,044
国内	1,028	1,425
合計	6,696	2,469

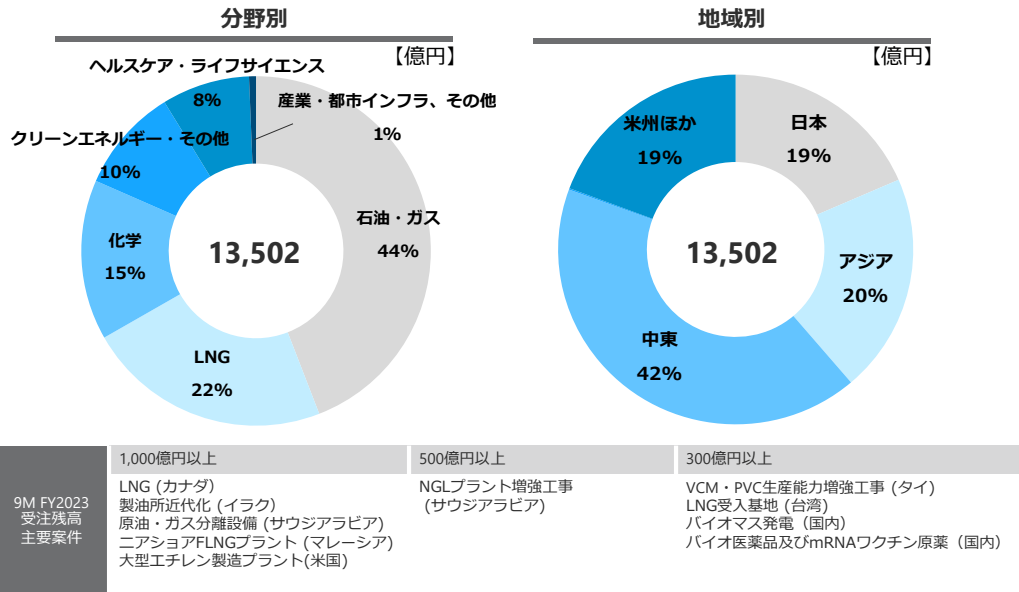
9M FY2023
主要受注案件

バイオ医薬品及びmRNAワクチン原薬等製造棟建設（国内）
バイオ原薬製造棟建設(国内)

総合エンジニアリング事業の受注の状況です。
第3四半期累計期間の受注高は全体で2,469億円となりました。
第4四半期に決定が見込まれる海外大型案件の受注に注力しております。

セグメント情報

ii) 受注残高 (2023年12月末)



受注残高は1兆3,502億円と前四半期末から約1,300億円の減少となりました。
 分野別では石油・ガスが44%、LNGが22%
 地域別では中東が42%アジアが20%
 等となっております。

連結財政状態

	【億円】		
	2023年3月末	2023年12月末	増減
流動資産	5,394	5,801	+406
固定資産	1,736	1,793	+56
総資産	7,131	7,594	+463
流動負債	2,722	3,025	+303
固定負債	429	543	+113
純資産	3,979	4,025	+45
自己資本比率	55.7%	52.9%	△ 2.8pt
JVキャッシュ 当社持分	1,717	1,496	△ 221

財政状態は期初から大きな動きはありません。
自己資本比率は横ばいの52.9%です。

バランスシートに計上していないジョイントベンチャーのキャッシュの
当社持分は、プロジェクト進捗に伴い221億円減少し1,496億円です。



2023年度の予想について説明します。

2023年度の業績見通し

【億円】

	修正前	修正後	増減		9M FY2023 実績	進捗率
受注高(※1)	8,000	8,000	-	-	2,469	31%
売上高	8,000	8,000	-	-	6,010	75%
売上総利益	680	480	△ 200	△ 29%	323	67%
利益率	8.5%	6.0%	△ 2.5pt		5.4%	
営業利益	380	160	△ 220	△ 58%	92	58%
経常利益	450	280	△ 170	△ 38%	233	83%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320	160	△ 160	△ 50%	106	66%
1株当たり配当金	40.0円	40.0円	-			
換算レート(米ドル)	140.00円	140.00円(※2)	-			

(※1) 総合エンジニアリング事業

(※2) 第4四半期の想定レート

2023年度の通期業績予想を修正いたしました。

受注高、売上高は増減ありません。

売上総利益は、総合エンジニアリング事業での利益率低下により
200億円減の480億円

営業利益は、研究開発活動の進展などにより販売費及び一般管理費が増加して
いることも考慮して220億円減の160億円

営業外で受取利息が増加するなど改善がみられるものの営業利益の減少を
吸収しきれず、経常利益は170億円減の280億円

親会社株主に帰属する当期純利益は半減して160億円です。

純利益は減少する見通しとなったものの、キャッシュフローの状況及び
来期以降の事業の方向性を踏まえ、1株当たり配当金は期初予想の40円を
維持することとしています。

2023年度 セグメント別 業績見通し

		【億円】			
		修正前	修正後	増減	
総合エンジニアリング	売上高	7,430	7,430	-	-
	セグメント利益	385	150	△ 235	△ 61%
	利益率	5.2%	2.0%	△ 3.2pt	
機能材製造	売上高	500	500	-	-
	セグメント利益	57	72	+15	+26%
	利益率	11.4%	14.4%	+3.0pt	
その他	売上高	70	70	-	-
	セグメント利益	15	15	-	-
	利益率	21.4%	21.4%	-	
調整額	セグメント利益	△ 77	△ 77	-	-

業績見通しの修正について、セグメント別で補足いたします。
総合エンジニアリング事業では、第3四半期までに追加費用の計上をおこなったことに加え、研究開発費の増加などによりセグメント利益を235億円減の150億円としています。
機能材製造事業では、コスト削減等により利益率が期初想定を上回って推移していることからセグメント利益を15億円増の72億円としました。
その他は変更ありません。

以上で決算概要の説明を終わります。